

6) 各診療科における医師の勤務負担軽減策の取組状況等

各診療科における医師の勤務負担軽減策の取組状況についてみると、取り組んでいるという割合が最も高いのは「医師事務作業補助者（医療クラーク）の配置」（50.4%）で、次いで、「医師業務の看護師等コメディカルへの移転」（29.0%）、「常勤医師の増員」（23.2%）であった。他の項目については、取り組んでいるという割合が20%未満であった。

図表 137 勤務負担軽減策の取組状況<取り組んでいるもの>（複数回答、n=2,389）

